

もうちょっとディープな日本史

<無くならない戦争>

太平洋戦争で日本は約310万人（そのうち民間人80万人）の人が殺され、約2割の家が焼かれた。東京大空襲、沖縄戦、原子爆弾と、人々は常に死の恐怖に怯えていた。

でも、殺されたり家を焼かれたのは日本だけじゃない。日本軍はアメリカ人を約16万人も殺したし、朝鮮でも20万人を殺した。中国では満州事変から終戦まで1000万人以上の人を殺して来た。

もちろん日本軍だって世界の各地で大勢の人が殺されたし、飢えや病気で亡くなった。人間が敵・味方に分かれてひたすら殺し合う。これが戦争。

どうしてそんな馬鹿な事、、、って思うかもしれない。ってか俺は思う（泣）でも、戦争は無くならない。なんでだろう？

それは戦争が「自分の願いを叶えるための手段」だから。

例えば欲しい物がある。普通は「頑張って働いてお金を貯めて買おう」と言う平和的手段を考える。でも、貧しかったり、どう頑張っても手に入らないような物だったり、それが無いと死んでしまうと言う状況だったら、、、**力づくで奪ってしまうんだよね。**

戦争には必ず原因がある。餓えて家族が死んでいくのを見てられない百姓が一揆を起こした。彼らを止められるのは「原因の解決」であって、「戦争はいけない！」と言う言葉ではないんだ。今もなお、この世界では戦争が続いている所がたくさんある。何でその戦争は起こってしまったのか？どうやったら止められるのか？みんなでそれを考えよう！

そして、日本で再び戦争が起こらないようにするには、どうやってその原因を取り除いたらいいか考えよう！

起こってしまった戦争は、なかなか止められない。より強力な兵器で、敵より多くの人を殺すまで、止められないんだ。だからそうなる前に、平和な時間を生きている間に、戦争の無い世界を守っていかないといけないね。一緒に考えていこう！

